

|                      |   |
|----------------------|---|
| 賀正 理事長新年のごあいさつ       | 1 |
| 第52回造本装幀コンクール作品募集開始  | 2 |
| 返品調整引当金廃止に伴う経過措置について | 2 |

## 新たな視点で、出版界の再生を

一般社団法人 日本書籍出版協会  
理事長 相賀 昌宏

新年明けましておめでとうございます。

出版界は厳しい時代が続いております。出版物を読んでいる人は今でも多いのですが、新刊書店で買って読む人の割合が下がっているのは確かです。このような中であって我々の使命は、読者が買っても読みたいと思ってくれる本をきちんと出し続けていくこと、普段本を読んでいない人々がその本を書店店頭に見に来てくれる機会を増やししかけを作っていくことだと思います。

そのような読書推進の一助として続けてきた東京国際ブックフェアですが、残念ながら、昨年に続き今年も休止することになりました。2016年に読者謝恩に特化したフェアへの転換を行い、4万人超の来場者数を記録するなどの成果を上げることができましたが、その後出展社の増加が期待ほど見込めませんでした。今後は、従来の TIBF とは異なったアプローチでの読者謝恩イベントを2019年に実現することを目指します。

消費税の税率変更は、明年の10月に実施される可能性が高くなっていますが、この機会に出版物に対する軽減税率適用を実現させるための法改正を目指しています。昨年暮れには、軽減税率が実現した場合に円滑な対応を可能にするための対策案を含めた要望書と与党税調等の関係筋に再度提出しました。出版物への軽減税率は、優れた著作物を後世に伝えるために必要であり、文化政策の一環として位置付けることが重要です。

今年の通常国会では、著作権法の改正がなされ教育機関での「異時送信」に対する補償金制度の

導入や、インターネットを利用した著作物利用等への柔軟な権利制限規定の新設等が行われる見込みです。教育利用に関する権利制限の拡大は、学術・専門出版社にとっては極めて重要な問題であり、新しい制度が適切に運用できるよう、様々な議論に積極的に参加していきます。

昨年春先に大きな話題となった、海賊版サイトは、突然の閉鎖によって一段落しましたが、ウェブサイト上の海賊版は後を絶ちません。このような電子の海賊版は、今後も成長が見込める電子出版ビジネスに対する脅威です。秋には、いわゆるリーチサイトの運営者が逮捕される事態もありました。悪質なリーチサイト自体を処罰するための法改正については、文化審議会著作権分科会での審議を見守りたいと思います。

図書館における選書や貸し出しのあり方に関しては、様々な意見や要望が出されています。図書館界と出版界との相互理解は、この数年で確実に深まっていますが、図書費増額や各地域での町おこしなどの場面での協働の可能性を探っていきます。

今年夏頃には、神保町に建設中の出版共同ビルが竣工し、年内には移転が完了します。文字通り出版団体の多くが一堂に会する場所が誕生します。団体や業種の垣根を越えて、出版業界再生のための拠点になることを期待しています。

本年も問題山積ですが、希望を持って困難を乗り越えていきたいと思っております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

## 第52回造本装幀コンクール 1月31日より出品作品募集開始！

第52回造本装幀コンクール（主催：日本書籍出版協会、日本印刷産業連合会）は、1月31日（水）から出品作品の募集を開始する。



昨年の公開展示会場

本コンクールは、製本・印刷・装幀などの技術の向上と育成、「本」という媒体としての魅力とともに本の面白さを発信し読書推進をはかることを目的に、出版社、印刷所、製本所、装幀者を受賞対象者として開催している。

今回の審査員は、例年に引き続き、柏木博氏（武蔵野美術大学名誉教授）、浜田桂子氏（絵本作家）、読者代表として女優の中江有里氏に加え今年から新たに装幀家・デザイナーの濱崎実幸氏と秋山伸氏を審査員に迎えることとなった。

出品作品の審査は上記5名の審査員が当たり、三賞（文部科学大臣賞、経済産業大臣賞、東京都知事賞）と審査員奨励賞を選定する。また、主催・後援関係者も審査員として各団体賞の審査・選考に当たる。出品作品は、本の装幀・デザイン、印刷・製本技術、本文デザイン・レイアウト等を総合的に評価する。出品作品は全点今年も神保町ブックフェスティバル期間中に公開展示される予定（場所未定。昨年は神保町・東京堂ホールにて開催）。



様々なジャンルの本が出品

また、受賞作品は、来年2月にドイツ・ライプチヒで行われる世界で権威のあるブックデザイン賞である「世界で最も美しい本コンクール」

に日本を代表して出品され、その後10月のフランクフルト・ブックフェアで展示される。

### ■2018年 第52回造本装幀コンクール募集要項

1. 募集期間：2018年1月31日～4月27日
2. 対象作品：2017年1月1日～12月31日までに発行されたもの
3. 対象部門（6部門）：①文学・文芸（エッセイ）、②芸術書、③児童書・絵本、④専門書（人文社会科学・自然科学書等）、⑤語学・学参・辞事典・全集・社史・年史・自分史、⑥生活実用書・文庫・新書・双書・コミック・その他
4. 出品料：1点につき5,940円（税込）
5. 審査会：5月中旬～6月予定
6. 表彰式及び記念パーティ：今秋予定

詳細・申込みWebフォーム等は、近日造本装幀コンクールHP等で公開される。申込みパンフレットの希望者は下記問合先まで。

造本HP：<http://www.jbpa.or.jp/zohon/zohon-index.html>

公式インスタグラム：bookdesign\_jp

[https://instagram.com/bookdesign\\_jp/](https://instagram.com/bookdesign_jp/)

（詳細問合せ 同事務局 Tel 03-5211-7282）

## 返品調整引当金・廃止へ 2021年から9年間の経過措置

現在、出版業・出版に係る取次業などの販売方法上常に多量の返品が予想される事業に対し、返品が事業年度をまたがっている時に返品によって発生する損失についても課税されてしまわないよう、その返品による損失の見込額として、損金経理により返品調整引当金勘定に繰り入れることを認めているが、昨年12月14日に与党（自民・公明）が税制改正大綱を発表し、国際会計基準

（IFRS）を踏まえた収益認識基準の導入に伴い、法人税法第53条で定めている返品調整引当金を廃止することを決定した。

ただし、2021年3月31日までに開始する各事業年度においては、現行通りの運用を認めるとともに、2021年4月1日から2030年3月31日までに開始する各事業年度については、現行法による損金算入限度額に対して1年ごとに10分の1ずつ減額した引当てを認める等の経過措置が講じられる（9年間）。2018年中に法改正予定。与党税制改正大綱は下記に掲載。

[https://jimin.ncss.nifty.com/pdf/news/policy/136400\\_1.pdf](https://jimin.ncss.nifty.com/pdf/news/policy/136400_1.pdf)

（返品調整引当金関係は、90ページに記載）

## 出版統計

| 書籍         |          |       |           |       | 書籍出回り         |         |       |          |       |
|------------|----------|-------|-----------|-------|---------------|---------|-------|----------|-------|
|            | 11月期     | 前年同月比 | 1～11月期    | 前年同期比 |               | 11月期    | 前年同期比 | 1～11月期   | 前年同期比 |
| 新刊点数       | 5,743点   | 98.2  | 67,164点   | 97.6  | 推定出回部数        | 7,550万冊 | 99.4  | 90,151万冊 | 95.4  |
| 新刊推定発行部数   | 2,722万冊  | 97.1  | 28,385万冊  | 98.1  | 推定出回金額        | 866億円   | 99.2  | 10,408億円 | 96.7  |
| 新刊平均価格     | 1,191円   | 98.5  | 1,169円    | 100.3 | 推定出回平均価格      | 1,146円  | 99.7  | 1,154円   | 101.3 |
| 新刊推定発行金額   | 324億円    | 95.7  | 3,318億円   | 98.4  | <b>実売部数</b>   | 11月期    | 前年同期比 | 1～11月期   | 前年同期比 |
| <b>月刊誌</b> | 11月期     | 前年同月比 | 1～11月期    | 前年同期比 | 書             | 4,387万冊 | 97.4  | 54,345万冊 | 95.8  |
| 発行銘柄数      | 2,176点   | 96.6  | 2,809点    | 97.3  | 月刊誌           | 7,127万冊 | 86.0  | 77,302万冊 | 88.2  |
| 推定発行部数     | 12,121万冊 | 90.1  | 137,626万冊 | 92.1  | 週刊誌           | 2,773万冊 | 89.7  | 31,930万冊 | 89.3  |
| 平均価格       | 649円     | 100.9 | 639円      | 101.3 | <b>実売金額</b>   | 11月期    | 前年同期比 | 1～11月期   | 前年同期比 |
| 推定発行金額     | 787億円    | 91.0  | 8,790億円   | 93.3  | 書             | 515億円   | 96.9  | 6,595億円  | 97.1  |
| <b>週刊誌</b> | 11月期     | 前年同月比 | 1～11月期    | 前年同期比 | 月刊誌           | 457億円   | 87.5  | 4,843億円  | 89.6  |
| 発行銘柄数      | 77点      | 110.0 | 86点       | 106.2 | 週刊誌           | 97億円    | 91.8  | 1,119億円  | 91.1  |
| 推定発行部数     | 4,531万冊  | 92.5  | 50,785万冊  | 91.8  | <b>実売金額合計</b> | 1,069億円 | 92.2  | 12,557億円 | 93.5  |
| 平均価格       | 364円     | 102.8 | 362円      | 102.3 |               |         |       |          |       |
| 推定発行金額     | 165億円    | 94.9  | 1,838億円   | 93.8  |               |         |       |          |       |

- 銘柄数 月刊誌は1ヵ月、週刊誌は1週間平均の発行銘柄数
- 部数 配本されたと推定される部数。書籍出回り部数は新刊・重版の流通総量を表したのもの。
- 平均価格 部数を加味した加重平均価格(税抜)
- 金額 発行部数・出回り部数を価格で換算した金額

[ 提供 出版科学研究所 (TEL03-3269-1379) ]

## 日版年間ベストセラー2017

日本出版販売協会は、書籍総合2017年間ベストセラー(集計期間:2016年11月26日～2017年11月25日)を発表した。下記は、上位20位までのタイトル。※『「書名」(著者、出版社)』順で記載。

- ①「九十歳。何がめでたい」(佐藤愛子、小学館)
- ②「ざんねんないきもの事典」(今泉忠明、下間文恵ほか、高橋書店)
- ③「蜜蜂と遠雷」(恩田陸、幻冬舎)
- ④「日本一楽しい漢字ドリル うんこかん字ドリル小学1年生～6年生」(一、文響社)
- ⑤「騎士団長殺し(1・2)」(村上春樹、新潮社)
- ⑥「儒教に支配された中国人と韓国人の悲劇」(ケント・ギルバード、講談社)
- ⑦「伝道の法」(大川隆法、幸福の科学出版)
- ⑧「続 ざんねんないきもの事典」(今泉忠明、下間文恵ほか、高橋書店)
- ⑨「モデルが秘密にしたがる体幹リセットダイエット」(佐久間健一、サンマーク出版)
- ⑩「新・人間革命(29)」(池田大作、聖教新聞社)

### 編集後記

昨年4月より広報がリニューアルし、電子版となりました。まだまだ至らない点などありますが、試行錯誤しながら電子版広報をこれからも発信していこうと思います。2018年が皆様に取りましても、良い一年になりますようお祈り申し上げます。今年もよろしくお願いたします。(あ)(吉)



一般社団法人 日本書籍出版協会

発行人: 中町英樹

〒162-0828 東京都新宿区袋町6

TEL: 03-3268-1301

FAX: 03-3268-1196

**Web サイトもご覧ください**

<http://www.jbpa.or.jp>